

東京工芸大学がアニメーション制作・体験ワークショップを開催
—東京工芸大学杉並アニメーションミュージアムとの連携—

2019年12月15日（日）、東京工芸大学（学長：義江龍一郎 以下、本学）は「東京工芸大学杉並アニメーションミュージアム」（東京都杉並区 以下、同ミュージアム）と連携し、同ミュージアムでアニメーション制作の楽しさを体験するワークショップを開催しました。東京工芸大学と東京工芸大学杉並アニメーションミュージアムの初の連携事業となります。

ワークショップ開催の目的は、アニメーション作りの楽しさをより身近に感じながら、アニメーションの原理や、本学の学びにふれてもらうことです。

当日は、芸術学部アニメーション学科山中幸生准教授による、参加者1人ずつ制作した1秒間のアニメーションをつなげ合わせる「しりとりアニメーション」の制作と、芸術学部アニメーション学科木船園子教授による、光とコマを使用した「アニコマ」制作の2つのワークショップを、制作サポートスタッフとしてアニメーション学科学生が協力して実施。参加者は小学生を中心に80名を超え、好奇心を持って楽しそうにアニメーション制作に取り組みました。

今後も本学では、高等教育機関として大学の持つ知的財産を活用し、社会に貢献できるよう取り組んでまいります。



「しりとりアニメーション」



「アニコマ」



スタッフ一同

「東京工芸大学杉並アニメミュージアム」
教育・文化の普及を目的として、日本初の体系的なアニメーション学習・体験施設。
2018年に東京工芸大学が命名権を取得した。URL：<https://sam.or.jp/>

■概要

開催日：2019年12月15日（日）

開催場所：東京工芸大学杉並アニメーションミュージアム（東京都杉並区上荻3-29-5 杉並会館3階）

対象：小学生以上（推奨年齢：小学2年生以上）

本リリースに関するお問い合わせ
学事部広報課：046-242-9600
university.pr@office.t-kougei.ac.jp